

柳営日記記

寛文十三^{癸丑}年 九月廿一日改元延宝

正月

朔日

奥^一於御座之間屠蘇白散被召上

辰后刻御黒書院^江 出御上段御着座^{雜御裝束} 御太刀本多

土佐守御劔酒井老岐守甲府館林両宰相殿御勝手より出座御礼太刀目録酒井河内守披露之 御座之左之下方下段^ニ

着座兎之御吸物御盃御銚子之加有之^而御次之間^江被持退候時河内守取次御三方載之御酌被渡 御前^江被召上之時中座^而御礼此時呉服臺載頂戴之復座館林殿御作法右^ニ

同一礼有之退去

一 大廣間^江 出御之刻大廊下^ニ御詰衆奏者番寺社奉行

御留守居大目付町奉行御勘定頭此外諸番頭布衣以上御役人大廣間西御縁通山吹之間^ニ 御目見申上候面々諸大夫三千石以上之面々並居御通かけ一同御目見

一 大廣間下段御敷居際^ニ 立御御次之間老万石以上同惣

領諸大夫之面々法印法眼無官之高家衆復座^ニ寄合衆役人両番大御番小十人組御目見右終^而入御

二日

辰刻御黒書院 出御上段御着座

御太刀

本多土佐守
内藤上野介

尾張中將殿

水戸少将殿

右御礼其外御礼衆有之

三日

巳刻御白書院^江 出御上段御着座

御刀

酒井老岐守
松平虎松殿

右御勝手より御礼

一 午下刻内馬場^{差遣}被為 成御馬召初有之候

時ふく三

同 二

諏訪部彦兵衛
西川次郎左衛門^奥
諏訪部彦右衛門^奥

右同断^ニ付被下之

一 御座之間^ニ御弓始有之

一 今晚御詔初^ニ付諸大名より盃之臺献之

御詔初 御刀 小出美濃守

一 柳生飛騨守^江時服三天鷹^江被下之右^ハ御兵法初^ニ付^而也

四日 無事

五日

巳刻御白書院^江 出御上段御着座

(^御札 式束老卷

右御目見次^ニ

壹束一巻

東巻

東本

同

同

東巻

右御目見此外諸出家同断

一 狩野法印^江時服三法眼^ニ養朴^江も二被下之右^ハ御繪

初^ニ付^而也

六日

辰下刻御白書院^江 出御上段御着座

御太刀

御刀

三束式巻

一束一巻

同

同

右御目見此外寺院社人等御礼

七日

巳刻御黒書院^江 出御甲府館林両相公水戸宰相
尾張中將殿水戸少将殿七種之為御祝儀 御對顔次^ニ

松平讚岐守

井伊掃部頭

松平美濃守

松平下総守

右御目見

旧職官位御礼 時ふく五金馬代

銀馬代 官位之御礼

同

同

同

同

同

同

右御目見終^而 入御

八日

一 雷^ニ付為伺 御機嫌御三人方々使者上^ル謁老中

上使内膳正

松平安藝守内室

上使取食内膳正

松平彈正大弼内室

松平彈正大弼卒去^ニ付被遣之

松平彈正大弼卒去二日卒去^ニ付安藝守へ宿次奉書

九日

禁裏^江

日光 十七日御名代

同 廿日

右之通被 仰付之

千代姫君御方大奥へ入興^奥八丈嶋三十反御伽羅三百匁被下之

十日

銀三百枚 奥松平彈正大弼死去^ニ付 上使酒井日向守

松平岩松

右為御香奠被遣之

三州風来寺御宮御修理出来候^ニ付當月十七日遷宮有之太田

摂津守可致参旨被 仰付之

十一日

今日如御嘉例御具足之餅出仕之面々江被下之

已刻御黒書院^江 出御御上段御着座御祝儀之餅被下之

入御之節御連哥之御會有之直^江御白書院^江出御御連哥之

間後^江 御座此時^江御連哥被為聞召即刻 入御

天地と相さかふるやまつのはる^江 昌陸

日かけもにほふ梅ひらく山 御句

峯高美霞のまことに雨晴て 玄祥

年始之御礼参上之伊勢内外宮長官代内宮町年寄山田三

方惣代山崎新家惣代上下京大坂堺奈良伏見過書等年寄

惣代御墨屋等へ時ふく白銀等被下之

奥栄松寺年始として登城^江付伽羅一木^江被下之

十二日

於評定所式日寄合初^江但馬守出座

大坂 御目付代

山崎四郎左衛門 青山善兵衛

右之通被 仰付之

御暇金十枚時ふく三羽折 大沢兵部大輔

日光へ御暇 奥十七日 奥廿日 奥廿日

御門主へ三種二荷被遣之 阿部播磨守

仙台へ御目付被 仰付 高木忠右衛門

中野傳右衛門

十三日

奥青山丹後守組大倉主膳正組御番上

午刻西丸^江渡御山里^江 御馬 上覽御膳被 召上申后

刻 還御

十四日

元方御金奉行須田傳左衛門老免

紀黄門簾中大奥へ入奥 姫君初^江同道有之

奥御簾中^江伽羅三百拾九匁織子十卷御姫の方^江琥珀之箱一ツ

色糸廿斤被下之

禁裏へ 新院へ

銀百枚 銀五十枚 銀二十拾枚 匂當内侍へ

蠟燭千挺 女院へ 金老枚 日野前大納言

法皇へ 同断 〃 中院前大納言

銀五十枚 女御へ 〃 三十枚 御暇時ふく五尾黄門使者

蠟燭五百挺 本院へ 〃 三十枚 竹腰山城守

銀五十枚 蠟燭三十挺

十五日

已刻御黒書院^江 出御如例御一門方 御對顔 御白書院

出御如例月諸大夫御目見

紀黄門を以使者一荷二種御臺様へも同断被献之是昨日簾中

大奥へ入奥姫君同道御礼有之^江付^江也

金馬代 織田出雲守

銀馬代 仙石越前守

同 三浦老岐守

右は旧冬官位之御礼

秋山六左衛門 門奈助左衛門

右は奥州が御馬買掃り候^江付

東巻 駿府 宝臺院 御礼 本理院御方衆

駿州 臨濟寺 銀馬代 河野三左衛門

東本 足利 鳥目 諸星庄兵衛

御年蓋 学校 高野聖方 江川太郎左衛門

東巻 大徳院 御暇時ふく式ツツ^江二十六院 惣代 後藤少齋

〃 一ツ 上飛騨 惣代 高野行人方 惣代

勢州稻熊金剛室寺 使僧

十六日

尾張中将殿登 城是は松平摂津守昨日縁組被

仰付候^江付御礼謁老中

十七日

依御服 紅葉山 御名代無之

十八日

十九日也 松平駿河守

右は跡式五万石被下之旨老中申渡之 同 又七郎

御暇時ふく式 大社两国造 使者

十九日 〃 長床坊 使僧

十九日 今日之儀前^江記

廿日

辰下刻上野 御佛殿^江 御参詣御先^江 松平讃岐守老中四人

御供堀田備中守板倉筑後守松平因幡守石川美作守

宝樹院様御廟所^江 御参詣有之

豫参雅楽頭大和守但馬守内膳正

還御之節毘沙門堂へ御入御門主才御菓子被献之

奥御門主退座以後御菓子被召上

御長柄御簾吉良上野介御太刀戸田土佐守御刀内藤上野介

御香能勢摂津守 御先立雅楽頭

紀黄門水宰相尾羽林陪從讃岐守 御目見毘沙門堂奉迎

奥 廿一日 無事 奥 廿一日 無事

一女院様より年始之御進物披露

廿二日

於評定所式日之寄合板倉内膳正出座

廿三日

大目付 町奉行 町奉行

吉利支丹改 渡辺大隅守

町奉行 渡邊大隅守跡 宮崎若狭守

御鐘奉行 御持弓頭 兼松又四郎

御持弓頭 兼松又四郎跡 秋山十右衛門

定火消
秋山十右衛門跡
八木十三郎

右之通被 仰付之

御暇時ふく四
寶臺院

廿四日

已刻増上寺 御參詣御半持 御先へ松平讃岐守并伊掃部

頭老中相越御供土并能登守板倉筑後守松平因幡守等罷越

御簾 吉良上野介

御太刀 由良信濃守

御刀 酒井老岐守

御香 三枝對馬守

右之通二而 御參詣

豫參掃部頭雅業頭美濃守大和守但馬守

御先立掃部頭

紀黃門水宰相尾中将陪從時守御目見 方丈拝迎

御堂御佛參過而 崇源院棟御廟所江 御拜礼終而 方丈江

入御御吸物御盃出之方丈被 召出御盃頂戴之午后刻

還御御菓子方丈ハ歌之

日門日光掃參二付 上使上秋伊勢守

阿部播磨守日光掃謁

廿五日 無事

廿六日

前二出 元方御金奉行 須田傳左衛門

右は老牀二 付願之通御役御免被 成候去ル 十四日之事也

大御番へ御番入被 仰付候面々

武田越前守組入 太田三左衛門

久保七左衛門

金田八郎右衛門

松風三左衛門

川窪平吉

田村三左衛門

右之通老中申渡之

御暇銀十枚 高野山 大徳院

算新兵衛組与力同心御褒美与力江 銀五枚同心江 金老杖被下候

右骨折二而 付也

廿七日

右之通御役 御免之旨 伊東安兵衛

御留守居

廿八日

已刻御黒書院江 出御如例月御一門方御對顔過而 御白書

院江 出御諸大名御礼

箱者 病後 松平薩摩守 御代官 井出藤右衛門

綿百把 參勤 黒田千之助 小川大吉

金馬代 年頭 本多兵部少輔 守屋与三兵衛

銀馬代 年頭 水野右衛門大夫

年頭御礼 尾張殿使者 寺尾藤左衛門

相寄候 松平摂津守縁邊 石川伊賀

被 仰付御礼 松平摂津守使者 川村次郎兵衛

縁邊被 仰付御礼 水野對馬守

紀州ハ掃參 伏見殿使者 安藤内匠

年頭 銀馬代 知恩院宮使者 岩波少進

御薫 青蓮院殿使者 島居小路大藏卿

御薫 圓満院殿使者 西坊

御息所相縁邊 廣司間白殿使者 廣庭中務大輔

被 仰付御礼 三井寺惣代 東圓院

三東老卷 身延 久遠寺

武東老卷 甲州大野 本遠院

一東一卷 八幡 宝蔵坊

染草十枚 此外寺社人數輩年頭御礼

廿九日

晦日

御暇時ふく四

武羽折

尾黄門使者 石川伊賀

寺西藤左衛門

同斷 松平摂津守使者 川村二郎兵衛

伏見殿使者 安藤内匠

知門使者 岩波少進

青門使者 西ノ坊

圓門使者 島居小路大藏卿

間白殿使者 廣庭中務

御代官 小川藤左衛門

御助定組頭 糸原勘兵衛

御暇時ふく四 岩手兵左衛門跡 保科筑前守へ御使役 上使を以御菓子被下之

柳營日記記

延宝元 癸丑 年

二月

朔日

巳后刻御黒書院 出御 御裝束

御太刀

御刀

三東老卷日光御門跡如諸出家年頭御札

御服中付 御鏡年玉御札 御前へ不出

御後頭

井戸新右衛門

櫻井宗恩

八幡宮僧惣代

同所社人惣代

三木右京

伏見御番

萬福寺使僧

多賀

尊勝院使僧

同 老ツ

伊豆大嶋流罪

御免

同 甚五左衛門

同 福田宗有

同 宗吟

江戶拂御免

此外輕き者罪有之面々町人共以上廿八人被 御免

又は追放 御免等有之

館林善導寺後住被 仰付候

増上寺一蕪

春岳

右方丈江申渡

御預御免但鎌倉へ参間敷候

銀座

龍源庵

高繩

豆州大嶋流罪御免

但徳路京都へは参

ましく候

湯浅重石衛門

富士

善長

追放御免

遠州御代官所

相州子八村

喜左衛門

江戶御免

芝蓋町

竹屋久右衛門

湯屋安兵衛

以上 廿八人

御暇銀五枚

女院 御使

酒井河内守痘瘡為御尋

上使本多土佐守被遣之

於評定所式日寄合大和守出座

内藤上野介酒井老岐守事日来御奉公不應 御意候ニ付

今日閉門被 仰付之

五日

右昨日閉門被仰付候

日門へ上使上秋伊勢守を以銀百枚時ふく五被遣之

御暇時ふく三

山門惣代

千壽院

三井寺惣代

東園院

久能山

德音院

松高院

妙壽院

八幡山

豐藏坊

本徳寺家老

藤村市右衛門

高繩町

本所屋右衛門

太郎兵衛

三左衛門女房

三左衛門女房

しげ

遠州川袋村

喜左衛門

酒井河内守痘瘡為御尋

上使本多土佐守被遣之

於評定所式日寄合大和守出座

内藤上野介酒井老岐守事日来御奉公不應 御意候ニ付

今日閉門被 仰付之

五日

右昨日閉門被仰付候

日門へ上使上秋伊勢守を以銀百枚時ふく五被遣之

御暇時ふく三

山門惣代

千壽院

三井寺惣代

東園院

久能山

德音院

松高院

妙壽院

八幡山

豐藏坊

六日 無事

七日

金式枚

時ふく二ツ

羽折

右骨折相動候ニ付被下之

但庄兵衛七之助は三年相動候ニ付御免被成候

御小姓組

松平新五左衛門

御書院番

田中作兵衛

右は屋敷改被 仰付候

新院衆鈴木淡路守事病免

八日

巳后刻御黒書院 出御

御裝束

御太刀

御刀

三東老卷日光御門跡如諸出家年頭御札

御服中付 御鏡年玉御札 御前へ不出

御後頭

井戸新右衛門

櫻井宗恩

八幡宮僧惣代

同所社人惣代

三木右京

伏見御番

萬福寺使僧

多賀

尊勝院使僧

同 老ツ

伊豆大嶋流罪

御免

同 甚五左衛門

同 福田宗有

同 宗吟

江戶拂御免

此外輕き者罪有之面々町人共以上廿八人被 御免

又は追放 御免等有之

館林善導寺後住被 仰付候

増上寺一蕪

大関勘右衛門

山崎四郎左衛門

青山善兵衛

松平右京大夫

時ふく五

金馬代

大坂御目付

代り御暇

金五枚ツ

駿河守跡

松平又七郎

御書院番

御意候ニ付

御暇時ふく五

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

御暇時ふく四羽折

江戸拂 御免

高麗
大坂町
傳兵衛
本所徳右衛門町
徳右衛門店
十兵衛
本所河上町三丁目
七兵衛妻

遠州御代官所追放
御免

遠州袋井村
三左衛門妻
喜左衛門
与惣左衛門

所追放 御免

總州馬入村
權左衛門
仁右衛門
佐左衛門

兩典へ 上使石川美作守八丈嶋織物三十反^ヲ被遣野
奥夜^ニ入幸若舞御覽

十日

御白書院

日野大納言

溝口信濃守

中院大納言

相良遠江守

法皇使 池尻中納言

建部内匠頭

本院使 高倉大納言

仰付候

新院使 今城宰相

仰付候

公方様へ

北条右近大夫

御臺様

備前則成御腰物

伏見式部卿貞敦親王筆

右之通^ハ遺物進上之

夜分於御座間舞被 仰付候

鳥帽子折

小八郎

九穴貝三人^三舞

五郎右衛門
三右衛門

十一日

一 火事出来之節其場へみたり^ニ不可罷越此以前^ハ雖被 仰出

此日人多集由其間有之間役人之分一切火本近所へ不可相越

旨相觸候

一 井伊掃部頭へ上使本多土佐守八丈嶋二十反被遣之

十二日

於評定所式日寄合美濃守出座

御座之間

前田安藝守

京都町奉行
宮崎若狭守跡

筒井内蔵

御留守居番
伊藤安兵衛跡

大久保甚兵衛

駿河町奉行
富永孫左衛門跡
御加増三百俵

三嶋清左衛門

小十人頭
筒井内蔵跡
御加増三百俵

山田太郎右衛門

千代姫君様被^為附
齋藤治郎右衛門跡
御加増千石

右之通被 仰付候

嶋田権三郎

小十人頭
大久保甚兵衛跡
奥御加増三百俵

千代姫君へ山田太郎右衛門被附候^ニ付為引渡土屋但馬守尾州殿へ
相越

十三日

鈴木淡路守

右願之通御役御免之旨

能勢日向守為役料四物成千五百石分從去年被下候添状
今日飛脚^ニ被遣之

保科筑前守忌明^ニ付登 城

十四日

北条伊勢守

右^ハ水口在番被 仰付候是は京極主膳正代り也

小十人頭三嶋清左衛門嶋田権三郎組中引渡

十五日

辰下刻御黒書院^江 出御如例月御一門方御對顔御白書院

出御如例月諸大名御目見

箱肴 病後 酒井左衛門尉

御暇時ふく四羽折 小笠原能登守

年頭御礼 使僧 信光明寺

年頭御礼 三州 松應寺 善導寺

年頭御礼 鳳來寺字頭 後住御礼 東福寺

御暇金式枚時ふく式 岩松 連哥師共御暇白銀被下之

新善法寺 其外寺社人御礼參頭也

八幡 辰西堂

十六日

土御門藏人^ハ巳日御献献上之

十七日

御輕服^ニ付紅葉山 御名代無之

御暇銀五枚 土御門藏人 使者

十八日

大沢兵部大輔京都帰^ニ付登 城

十九日

讃岐守近年病氣^ニ依^テ領知差上隠居仕猶子石京大夫 御訖次第
少々領知拝領仕度旨願之通達 御聴

讃岐守事未老年といへども病病^ニ付可其意 松平讃岐守

右京大夫儀^ハ御奉公可動年齢之条領知無相違 同 右京大夫

被下之旨御直^ニ被 仰出

御金奉行 永田傳左衛門

葛木治左衛門

右^ハ病氣^ニ付御役 御免之旨被 仰渡

御暇時ふく四 信光明寺

三 松應寺

式金一枚 医王院

四 辰西堂

御暇時ふく三 新善法寺

知恩院方丈 使僧

吉祥院

式 竹之坊
大善院 使僧

廿日

東叡山 御名代板倉内膳正
甲州 廣嚴院松天
遠州可睡齋後住
松平薩摩守卒去^二付父大隅守子松平修理大夫^江為御尋国
元^江奉書

廿一日

銀式百枚
上使福美美藏守
松平下野守
右は高田様御一週忌^二付松平越後守屋敷へ為御香奠被
遣之
大沢兵部大輔京都掃部付 御目見
大御番祖頭本多弥五右衛門老免

廿二日

於評定所式日寄合但馬守出座

廿三日

歳暮之御内書被下

廿四日

増上寺 御佛殿^江 御名代久世大和守

廿五日

御白書院

三拾七万六千五百石
松平弾正大弼
同 岩松
名代 浅野因幡守

右は跡式無相違岩松 被下旨因幡守へ被 仰渡之

大御番 本多伯耆守組与頭
山田太郎右衛門跡

岡部丹波守組与頭
本多弥五右衛門跡
丸毛兵左衛門
大岡宇右衛門

右之通被 仰付候

廿二日 出

松平薩摩守死去^二付同大隅守同修理大夫国元^江為御尋去
廿一日奉書被遣之

山田太郎右衛門へ 御黒印下知状被下之

廿六日

御弓矢雄奉行 高木茂左衛門跡 中根日向守組 大御番
御天守番之頭 正田長左衛門跡 松平薩摩頭組 岩間八郎左衛門
御金奉行 須田善左衛門跡 田中大隅守組 大井長左衛門
大坂御金奉行 永田傳左衛門跡 戸田相模守組 佐橋三左衛門
同 葛木治左衛門跡 内藤若狭守組 米倉又兵衛

右之通被 仰付候

廿七日

松平右衛門佐御暇^二付 上使板倉内膳正銀五百枚時ふく五十被下候

廿八日

例月之御礼無之

已下刻御黒書院 出御

真御太刀左文字 銀三百枚 松平讚岐守
小袖二十 御臺様へ銀三十枚 右京大夫事

太刀 金馬代 小袖十 貞宗御脇指代金百枚
松風茶入 御臺様へ 綿百把 後撰衆 為世筆

右之通差上之

小袖四 羽折 金五枚 小袖三ツ 水口在番 御暇
二条在番 御暇
北条伊勢守 岡部丹波守 武田越前守

銀拾枚ツ 高木忠右衛門

小袖二 中野傳右衛門

金三枚ツ 仙台御目付

銀馬代 御目見

四月朔日出

川窪左近

菅沼七之助

久世三九郎

加藤權之助

井戸權九郎

高木龜助

加藤傳右衛門

遠山九十九郎

戸田麻之助

片山宗玄

吉田長達

曾谷格元

大御番百人

山吹之間 御暇 二条在番 伴共十七人

鳥目百足 初番 御目見

鳥目百足 初番 御目見

美濃部万之助 十四

小笠原數馬 十五

間宮内蔵介 十六

坪内長十郎 十七

田中百助 一

小栗兵右衛門 二

遠山内記 三

右御目見

銀拾枚ツ 大御番

梶原庄右衛門 十一

川野權八郎 十二

太田源左衛門 十三

美濃部万之助 十四

小笠原數馬 十五

間宮内蔵介 十六

坪内長十郎 十七

田中百助 一

小栗兵右衛門 二

遠山内記 三

柳沢左京 四
兵橋子
毛利平三郎 五
大久保長十郎 六
九兵衛門
平左衛門子
林平十郎 七
喜兵衛子
南條喜太郎 八
長四郎子
駒井孫一郎 九
伊兵衛美子
秋山數馬 十

右一同 御目見

時ふく三ツ 婚姻御礼

御暇御馬被下

父右衛門佐富間へ初^三
御暇^二付差添被遣候
時ふく三十御馬被下

御暇時ふく四羽折

三^三

三^三

銀馬代

時ふく五ツ

銀馬代

時ふく四ツ

銀馬代

時ふく式ツ

箱着

在所參上

尾黄門使者

津田五郎兵衛

千代姫御方へ山内太郎右衛門被為附御礼

御天守番頭岩間八郎左衛門へ組引渡有之

廿九日 無事

柳營日記記
延宝元^{癸丑}年
三月

朔日

已下刻御黒書院^江 出御如例月御一門方 御對顔過^面

御白書院 出御諸大名 御目見

根方長次郎
根目見
かひたん

右御目見

貢物

一モエギ羅紗 五反 一黒羅紗 五反

一小羅紗 七反 一奥ヒロウト 五卷

一毛ヒロウト 五卷 一白縹子 十卷

一黒縹子 三十卷 一縮緬^奥 三十卷

一奥嶋 三十反 一サックス嶋 三十反

一花さらさ 同 一霜降さらさ 同

一カセラレシヤ嶋 同 一色セイラス嶋 同

一色カイキ 同 一東京リンス 三十卷

一大金巾 三十反 一小金巾 三十反

一丁子 五十斤 一チンタ酒 一壺

右之通差上之

石川八郎右衛門

右は日光御門跡来四月依上京差添可被遣候旨被

仰付候

御初^奥 御暇^{銀三百枚} 時ふく三十

御馬被下

御暇^{時ふく二十} 御馬被下

銀馬代^{御馬被下} 遠江守子 酒井左衛門尉

時ふく三^{初^奥 御目見} 相良長次郎

東本^{年頭} 愛宕山 圓福寺

東巻^{年頭} 住職御礼 遠州 可睡斎

大緒一箱^{年頭} 竹生嶋 豊前守佐八幡神主

法花寺^{年頭} 妙覚院 大宮司

高嶋四郎兵衛^{大工棟梁} 中井主水 同五郎兵衛

小法師石見

何れも進物

尾黄門使者 津田五郎兵衛

二日

松平左京大夫參勤^二付 上使御使役

三日

御刀 三枝對馬守

巳刻御黒書院 出御^{御製斗} 甲府館林兩宰相殿紀伊

中納言殿水戸宰相殿尾張中將殿水戸少將殿 御對顔

次^二井伊掃部頭松平讀岐守松平左兵衛督松平下總守

井伊玄蕃頭松平美作守右御目見次^二御白書院^江

出御一同御目見

右は日光御門跡上京^二付差添可被遣候旨被 仰渡候

於評定所寄合板倉内膳正出座

高田庄右衛門

右は病氣^二付願之通御役御免之旨被 仰渡候

増上寺火消松平阿波守御暇^二付代り有馬中務大輔被 仰付候

松平安藝守參府^二付 上使安藤對馬守

長崎通詞西吉兵衛へ御切米五十俵十人扶持被下之

五日

右は御切米五拾俵十人扶持被下候旨被 仰渡候

西 吉兵衛

御暇時ふく式 豊前守佐 宮成彈正

竹生嶋 妙覚寺

熊野三山 惣代

小法師石見

高嶋四郎兵衛

駿州浅間之社頭為御修理御被官大工増田清右衛門御暇

銀五枚被下之

六日

本多飛騨守
丹羽式部少輔
細川豊前守
堀長門守

右は大坂加番被 仰付候

銀式百枚
時ふく十
同拾枚
御暇
上使美濃守
毘沙門堂御門跡
同家来
安田治部卿
今小路式部卿
小田助之進
渡邊左進

右は御暇^ニ付被下之

七日 無事

八日

已下刻御黒書院 出御毘沙門堂御門跡一昨日以上使
御暇被遣之為御札登 城 御對顔過^而家来一同
御目見

九日

已下刻御黒書院 出御繼目御札
真太刀近景代金七枚
綿五百把
金五十拾枚

右御目見

御臺様^江 銀五十枚
たひか十巻

公方様^江

正宗御腰物代金式老〇〇枚
惠西巖黒繪
御臺様^江
松平安藝守^ノ
松平彈正大弼
遺物

御屏風 一双 兆殿司筆
松平岩松母^ノ
松平安藝守^ノ

御臺様へ二種一荷
御臺様へちりめん廿巻
箱香
上使
雅楽頭
上野介

右之通差上之

右は今朝到着^ニ付被遣之

参勤^江 金馬代
時ふく五

銀馬代
時ふく五
御暇^江 御馬一疋
時ふく六
羽折

箱香 病後

時ふく三ツツ
銀馬代

時ふく武ツツ
銀馬代

箱香 参府

時ふく三
銀馬代
繼目

十日

明日 御對顔被 仰出

十一日

今日公家衆 御對顔如例年已下刻御白書院 出御
御太刀 本多土佐守
御刀 三枝對馬守

禁裏より
御太刀目錄
金三枚

法皇より
同
同式杖

禁裏より勅作の干簾
一箱被遣之
本院より
同
同

勅使
院使
新院使

松平左京大夫
時ふく五

松平安藝守
松平式部少輔
保科筑前守
永井土佐守
鍋嶋撰津守
宮津へ御暇
上田主水
浅野孫右衛門
寺西織部
沖權大夫
横山内記
井上帶刀
近藤織部
館林殿家来
信濃守
黒田惣右衛門

松平岩松家来

上田主水

浅野孫右衛門

寺西織部

沖權大夫

横山内記

井上帶刀

近藤織部

館林殿家来

信濃守

黒田惣右衛門

新院より
同
同老杖

女院より
金老杖

女御より
同

右勅使院使御前持参御頂戴終^而

鷹司閔白殿
二條前撰政殿
近衛内大臣殿
一條内大臣殿
昭高院宮

右は以使者差上之^江 卷物一箇
大高權帳一東
匂當内侍

日野前大納言
中院前大納言
高倉前大納言
池尻前中納言
今城宰相
鈴廉石見
吉田侍使者
鹿

御職
大補式筋

右 御目見此外御末廣師御烏帽子師楽人等 御目見

御臺様へ
本院より
金襴 三巻

御臺様^江
下ヶ帯式筋

同
子リヌキ 三反ツツ

紗綾式卷ツツ

右之通差上之
鷹司閔白殿
日野家来
西野左近
上田采女
速水右京

近衛殿
佐々信濃守
近藤修理亮
二條前撰政殿
中川左京權大夫

昭高院殿(日次記は照高院)
秋本刑部法橋
美人徳代
山井近江
御装束師
豊田志摩

土岐新之丞
御冠師
木村筑後
老岐

十二日
於評定所式日寄合美濃守出座
上使大沢兵部大輔
日野
中院
高倉
池尻
今城

御樽一荷
鶴

十三日

高木忠右衛門
中野傳右衛門

右は仙臺^江為御目付被遣候^二付御朱印^三下知状被下候
旨老中被 仰渡候
蘭人御暇時ふく三十被下候立合渡辺大隅守青木遠江
守長崎奉行牛込忠左衛門通事へ時ふく式被下候

十四日

明十五日 公家衆御馳走御能之儀被 仰遣
上使本多土佐守 兩典
永井佐渡守 紀伊殿
尾中將へ

柴田和泉守 水戸殿御父子へ

十五日

御刀 本多土佐守

今日公家衆御馳走と御能有之^二付^三辰后刻大廣間
出御甲府館林両宰相紀伊中納言殿水戸宰相殿尾張
中将殿水戸少將殿 御對顔御中入過御舞臺^二面^三大夫^江
唐織時ふく被下之

御能組

御能初 酒井雅楽頭
呉服渡 同人
式三番 仁右衛門

高砂 觀世 權右衛門 市郎兵衛 又右衛門
田村 七大夫 彦太郎 助九郎 大助
芭蕉 觀世 六郎五郎 九郎兵衛 長藏
羅生門 平右衛門 彦太郎 新九郎 八郎右衛門
祝言 三郎次郎 茂兵衛 新右衛門 源介
三太郎 孫右衛門 安兵衛 萩右衛門

高砂 觀世 權右衛門 市郎兵衛 又右衛門
田村 七大夫 彦太郎 助九郎 大助
芭蕉 觀世 六郎五郎 九郎兵衛 長藏
羅生門 平右衛門 彦太郎 新九郎 八郎右衛門
祝言 三郎次郎 茂兵衛 新右衛門 源介
三太郎 孫右衛門 安兵衛 萩右衛門

うつほさる
あひす毘沙門 仁右衛門
あくひ 佐左衛門

十六日 無事

十七日

公家衆上野參詣
御宮 大沢兵部大輔 上秋伊勢守 安藤對馬守
松平豊後守 本多長門守
御堂 畠山下總守 戸田土佐守 朽木伊与守
土井兵庫守 本多長門守
御目付彦坂源兵衛 御徒頭本多平右衛門

十八日

御大刀 本多土佐守
御刀 能勢摂津守
辰后刻御黒書院 出御 勅答 院答被 仰出候終
御暇被下之
銀式百枚
わた百把
御蓋様々 小袖十
同
御蓋様々 同断
銀百枚
時ふく六
銀百枚
時ふく十
銀百枚
時ふく六
御蓋様々 小袖六ツツ

日野前大納言
中院前大納言
高倉前大納言
池尻前中納言
今城宰相

右之通被下之

銀十枚
時ふく武ツツ
同白殿使者
同断
近衛右府 佐々信濃
近藤修理
二条前撰政
中川左京
一条内府
難波内蔵権頭
照高院殿
秋本刑部卿

銀十枚 日野家來 中院家來 御冠師 御装束師
時ふく武ツツ (西野左近) 連水右京 (木村筑後 豊田志摩
上田主水) 土岐新之丞 (同) 老岐 美人山井近江
吉田侍從使者
時ふく武 鈴鹿將監

一故師殿局上り知行百石之事御通罷新中納言局へ五十石ツツ被下度
由被仰進被下候旨御書付被下
一法眼通元儀被叙法印由御尤^三思召候旨御書付由
一清水谷少將中御門弁兩人方領之儀被仰進從當丑年地方百石ツツ被下旨
奥 松平豊前守組西尾左大夫事御膳奉行被 仰付之

十九日

御座之間

禁裏附 御目付
前田安藝守跡 千石御加増 石谷五右衛門
新院附 鈴木淡路守跡 五百石御加増 石谷五右衛門
御後頭 高田庄右衛門跡 三百石御加増 石谷五右衛門
右之通被 仰付之
日野前大納言中院前大納言へ金十枚八丈嶋二十反^三被遣之
上使^ハ無之今日老中右旅館へ相越候序^二被下之
公家衆増上寺參詣^三付被遣之
織田主計頭 由良信濃守 土井大炊頭 大久保出羽守
戸田伊賀守 御目付河口源左衛門 御徒頭朝倉仁右衛門組共

廿日

上野御名代 但馬守 尾張殿使者
道中迄御尋御札 時ふく武 奥津喜右衛門
使者御暇

廿一日

尾張殿參府^二付 上使 但馬守
松平新太郎參府^三付 (日次記は兵庫頭) 土井兵庫守
御納守居番 久貝惣左衛門
御役御免 御納戸頭 松平彦大夫
老免^三病免 田中大隅守組(日次記は左衛門) 清水平左衛門

廿二日

御納戸頭 松平彦大夫

昨日、留有之

御留守居番
久貝惣左衛門
大御番組頭
清水平左衛門

右御役御免之旨老中申渡之

廿三日

於評定所式日寄合有之但馬守出座

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

尾張中納言殿

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

松平撰津守

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

紀伊中納言殿

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

水戸宰相殿

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

尾張中將殿

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

松平出雲守

右御對顔有之終
已下刻御黒書院 出御參勤御礼有之

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

松平新太郎

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

松平大藏大輔

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

池田主税

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

小笠原遠江守

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

九鬼内匠

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

桑山三之助

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

高林与七郎

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

三好備前守

太刀 御參府
銀五百枚
小袖三十
御臺様へ

高林弥一郎

右御目見

御參府
時ふく六
御折

松平市正

御參府
時ふく三
御折

尾張殿家老
松下豊前守

御參府
時ふく三
御折

尾張殿家老
竹腰備後
大道寺玄蕃

廿三日 無事

廿四日

増上寺 御名代美濃守

廿五日 無事

廿六日

大御番頭
中根日向守
右、御座之間、被為、召願之通御役御免之旨、御直、被、仰渡之

廿七日

上使 久世大和守
板倉内膳正
紀伊中納言殿
右は国元之御暇、御息女上杵喜平次、縁組被、仰出候、付、被遣之

廿八日

紀伊殿登 城御暇且縁組之御礼謁老
御殿屋 徳左衛門
御殿 時ふく
銀十枚
岩井与左衛門

廿九日

御座之間
大御番頭
中根日向守跡
御書院番頭
水野越中守跡
右之通被、仰付候
於御座間
高松へ御暇、御馬寄定
印月江里跡被下
源英

晦日

百人組之頭
奥年寄耳不開、付、遣奉行
横田次郎兵衛
病氣、付、深津長右衛門

右之通御役 御免之旨被、仰渡候

本多中務大輔雖參勤病氣、付、以使者銀百枚狸々緋十間献上之

水野平右衛門

岡野平大夫

杉田一郎左衛門

垣屋十郎兵衛

大崎与三右衛門

小笠原久兵衛

櫻井宗恩

永雲

宗徳

伊達遠江守參府、付、上使戸田伊賀守

廿九日

御座之間

板倉伊豫守

安藤老岐守

柳營日記

延宝元 癸 五年

四月

朔日

已刻御黒書院^江 出御如例御一門方 御對顔尾張殿は御病氣故御登 城無之御白書院^江 出御如例月諸大名 御目見

御宮^江 御仏殿^江初筭御進献之
娘縁組御礼
一荷二種

東卷 後住御礼
同 一乘院
同 行人方

同 寶積院
同 寶積院
同 寶積院
同 寶積院
同 寶積院

鳥目 參上
御暇時ふく三羽折
銀馬代 初^而

大善院
大因坊
道策

門入
宗看
宗与
宗桂

進物
尼ヶ崎 又右衛門
同人子

御暇 銀廿枚
時ふく式
時ふく三
式

二日

板倉伊与守安藤老岐守へ御書院番引渡有之

三日

御座之間

御留守居番
久貝惣左衛門跡
私方御納戸頭
松平座大夫跡

右^ハ 御直^二被^一 仰付候
紀黃門掃部^二付道中へ御尋奉書

四日

於評定所式日之寄合大和守出座

大御番組頭
田中大藏守組与頭
清水平左衛門跡
高木監物組
高木監物組
渡辺一郎左衛門跡
御歩行組頭

右之通被 仰付候
右之通被 仰付候

五日

覚

黄壁派之帽子衣を着し紛たる出家方々徘徊^二付急度可被穿鑿^一旨瑞聖寺へ宿坊^二申付置候間惣^三黄壁派之由^二江^一戸中其外於御代官所借屋又は地を求^メ住宅之出家於在之者瑞聖寺^江相届慥成者之由證文取之可差置之向後瑞聖寺より紛たる出家之由其家主名主五人組等^江申断候は寺社奉行所^江訴之可追払候^一もの也

御奥方御茶屋之御普請造畢付

時ふく三羽折
時ふく式^三

銀十枚

銀五枚^三

大久保平左衛門
石谷市右衛門

佐野与八郎

谷 弥三右衛門

六日

奥方進上番之頭^江
右之通被 仰付候

右^ハ昨日右京亮宅^江招之川口源左衛門^并御徒目付藤井善右衛門水野小右衛門相越伊兵衛常々不行跡其上私欲とも有之追放被 仰付候

右^ハ雖御勘定仕上候年来御役儀勤様不^一宜段違 上聞不屈被 思召候^二付御切米御扶持方被 召上之江戸京追放被成候旨於評定所小出甚左衛門御徒目付鈴木金右衛門春日井与左衛門立合申渡之
同役福田市兵衛儀去年令病死候右兩人同前^二付跡式 被 召上之旨

御座之間
大善院
御暇時ふく式
一 山田太郎右衛門へ先頃御増加増地之御書出被下之
一 松平相模守參府^二付 上使但馬守
一 大久保右京亮組小普請役原伊兵衛儀常々不法之段不届^二思召御切米御扶持方被召放追放被 仰付

池田忠兵衛
伊兵衛

松平相模守
伊達遠江守
松平飛騨守
加藤出羽守

津輕越中守
池田豊前守
加藤左兵衛
保科十郎右衛門

御座候へ銀廿枚
綿五十把
銀五十枚
銀五十枚
銀五十枚
銀百把
金馬代
柴皮三十枚
同断
同断

銀馬代
時ふく五
銀馬代
御馬代
御馬代
御馬代

御座候へらうそく五百把
御座候へらうそく五百把
御座候へらうそく五百把
御座候へらうそく五百把

御座候へらうそく五百把
御座候へらうそく五百把
御座候へらうそく五百把
御座候へらうそく五百把

御座候へらうそく五百把
御座候へらうそく五百把
御座候へらうそく五百把
御座候へらうそく五百把

（銀馬代）染革三十枚
（銀馬代）鼻帯二箱
（銀馬代）時ふく五
（銀馬代）紫皮廿枚
紫皮十枚
箱肴 病後

分部集人正
細川豊前守
松平老岐守
木下宮内
松平久米助
一柳對馬守

七日
御暇時ふく式羽折
御茶御試有之

保科筑前守使者
保科十郎右衛門

八日
梅首鶏五ツ
松平加賀守參府^三付 上使美濃守
日門御在京中御寺中火之番本多對馬守戸田右近稲垣藏
人太田式部四人被 仰付

上使本多土佐守
兩 典へ

九日
參勤
（銀五百枚）時ふく五十
御蓋採へ銀百枚
（金馬代）綿式百把
（銀馬代）綿百把
同断
有馬左衛門佐

（銀馬代）時ふく三
（銀馬代）時ふく五
同断
（銀馬代）時ふく三
（金馬代）時ふく十
御蓋採へ銀五枚
（銀馬代）泥障五懸
（銀馬代）御羽織三
（銀馬代）切付三口
同断

木下右衛門大夫
細川丹後守
山内右近大夫
戸川土佐守
中川佐渡守
岩城伊与守
市橋下總守
織田信濃守
小出大隅守

（銀馬代）八講布廿疋
（銀馬代）加賀守家司
（銀馬代）前田對馬
同断
御名代安藤對馬守
御祭礼奉行
秋元抵津守
被 仰付之
尾 門へ
大久保山城守
水 宰 相へ

織田對馬守
前田對馬
奥村伊与
秋元抵津守
尾 門へ
大久保山城守
水 宰 相へ

十日
御暇時ふく式ツ
御茶試有之

本院院御方千代姫御方へ梅首鶏五ツ被遣之
實茂社人
鳥居小路大膳
中大路集人

十一日
梅首鶏五ツ
上使三枝隠岐守
尾 中 將
青山信濃守
水 少 將
三枝隠岐守
三枝對馬守
德川常陸介殿へ
井伊掃部頭

十二日
於評定所式日寄合美濃守出座
由良信濃守秋元抵津守安藤對馬守日光へ 御暇被下
上杉伊勢守勢州へ御暇金十枚時ふく式羽折被下之
醫師道有事日門御登山之節差添可被遣旨
日門へ 上使織田主計頭御菓子被遣之
上使御使役
松平加賀守
松平越前守
梅首鶏五ツ
松平陸奥守

（銀馬代）織田對馬守
（銀馬代）加賀守家司
（銀馬代）前田對馬
同断
御名代安藤對馬守
御祭礼奉行
秋元抵津守
被 仰付之
尾 門へ
大久保山城守
水 宰 相へ

二條在番酒井伊与守組竹尾傳左衛門去三日乱心令自害
三々
隱元禪師去三日遷化八十二才

十三日
昨日二出
大御番
酒井伊与守組
竹生傳左衛門
松平相模守
細川越中守
松平伊与守
松平淡路守

十四日
百人組之頭
横田次郎兵衛勝
御持筒頭
近藤彦九郎勝
火酒
水野半左衛門路
上使を以御暇被下
近藤彦九郎
水野半左衛門
水野十兵衛

十五日
參勤
（銀式百枚）綿三百把
（銀二百把）太刀目録
（銀百把）狸々袴十間
（金馬代）金馬代
（金馬代）綿百把
（時ふく十）時ふく十
（銀馬代）時ふく五
（銀馬代）和紙五箱
（銀馬代）時ふく三
同断

上使但馬守
松平越前守
松平伊与守
御使番
松平淡路守
立花左近將監
御使役
松平土佐守
佐竹右京大夫

為御礼登 城
右之通被 仰付候

松平越後守松平出羽守參府^三付越後守へ上使但馬守出
羽守へ大和守被遣之

右傳左衛門事二条在番^三亂心いたし去^レ三日令自害由
御使役を以

松平相模守
細川越中守
松平伊与守
松平淡路守

（銀馬代） 奥久留嶋信濃守
（泥障二懸） 金森左衛門
（銀馬代） 溝口左近
（らうそく式箱） 稲葉市正
（銀馬代）
（時ふく二）

御暇

（御馬一疋） 松平越前守
（御鷹二居） 松平伊与守
御馬 松平淡路守
御馬 立花左近將監

時ふく二十 浅野因幡守
（銀百枚） 伊東出雲守
（時ふく十） 相良遠江守

同断 土方備中守
（銀五十枚） 立花和泉守
（時ふく四羽折） 建部内匠頭
（時ふく四羽折） 一柳對馬守

同断 加藤織部
同断 木下内匠
同断 多羅尾權兵衛

銀馬代 林内藏助
同断 安藤次左衛門
同断 飯田求之助

時ふく四羽折 高木新兵衛
箱者 參府 高木四郎左衛門
曾根五郎兵衛

進物ツ 末次平藏
同 北之助

十六日 西丸御留守
大久保平左衛門跡

右之通被 仰付候 大久保右衛門八

新御番能勢市十郎組与頭 中山茂兵衛
石谷市右衛門跡 曲潤市大夫
山口庄兵衛跡

渡辺吉左衛門日光御目付代可被遣旨
上秋伊勢守勢州山田へ被遣二付 兩宮へ御献上之御太

刀目録人馬御朱印被下之

森内記參府二付 上使大和守

十七日

辰下刻紅葉山 御宮御社參 御先^江井伊掃部頭老中
不殘相越御供土并能登守堀田備中守松平因幡守石川美作
守相越 御本城御留守居松平美作守板倉筑後守等也

御太刀 大沢兵部太輔
御刀 本多土佐守
御香 神尾播磨守
御簾 酒井雅樂頭
御先立 井伊掃部頭

豫參 掃部頭
美濃守 大和守
但馬守

尾黄門水宰相陪拜

參勤 森内記
五嶋淡路守
森對馬
内記子 織田左門
右衛門佐子 植村万之助

時ふく十 相馬長門守
時ふく五十 上使但馬守
時ふく五十 細川越中守
時ふく五十 奏者番 丹羽左京大夫
時ふく三十 織田山城守
時ふく十 上使美濃守 織田山城守
時ふく三十 内膳正 松平土佐守
時ふく五十 奏者番 佐竹右京大夫
時ふく三十 毛利甲斐守
時ふく十 南部大膳大夫
時ふく十 松平上野介
時ふく十 嶋津飛騨守

御暇

十八日

十九日

廿一日

廿二日

無事

於評定所式日寄合大和守出座

武田杏仙

時ふく五羽折 九鬼式部少輔
（銀五十枚） 桑山修理亮
（時ふく四羽折） 遠山信濃守
（時ふく十） 関備前守
時ふく四羽折 一柳山城守
同断 朽木監物

時ふく三羽折 竹中左京
時ふく式羽折ツ 米倉加左衛門
大坂御金奉行 佐橋儀兵衛

松平越後守
松平左京大夫
松平出羽守
松平但馬守
伊達遠江守
松平讃岐守
松平岩松
松平新太郎
藤堂大学頭

右御使役ヲ以被下之
南部大膳大夫ノ御馬一疋 栗毛献上之
御暇銀十枚時ふく式
末次平藏

紅葉山 御參詣雨天 付御延引 御名代雅樂頭
由良信濃守秋元摂津守日光掃於御座間 御目見
増上寺 東叡山 御仏殿へ蒸笋進獻之

廿一日 無事

廿二日 於評定所式日寄合大和守出座

武田杏仙

右^ハ本院^江被附候旨京都^三三年相詰可申之旨老中申渡
之右^ハ武田養安幼少^二付^而也

森内記^江以上使(奥御使番)梅首鶏五被下之

酒井河内守(奥抱痞)病後 御目見箱肴献之

狩野永真先頃御絵被 仰付^二付(奥宜出来仕御機嫌被

思召)為御褒美時ふく三羽折被下之

廿三日

段子廿巻 松平右衛門佐使者

一荷二種 福岡到着御札 同人意 郡 庄大夫

羅紗十間 同断初画 花房次左衛門

一荷二種 御使番 松平安藝守

梅首鶏五ツ 立花紅雪

増上寺火番松平土佐守代森内記被 仰付之

廿四日

増上寺 御名代但馬守

安藤對馬守日光輝御座之間 御目見

日門御掃寺^二付 上使戸田土佐守

廿五日

参勤^二付

上使大和守

松平大膳大夫

美濃守

藤堂和泉守

松平右衛門佐使者 某

廿六日

西門跡昨日到着^二付為 上使吉良上野介被遣之

謝鬼偶 一通 隠元自書

五百羅漢繪 一軸 王振麟書

右式品隠元禪師為遺物黄壁より使僧以慶峯差上之

謝恩偶 隠元自書 一軸

五百羅 元朝絵工振麟筆 一軸

仁宗皇帝ノ宝物 云々 一軸

奥上使御使番

梅首鶏五ツ

松平飛驒守
有馬中務太輔
松平信濃守

廿七日
無事

廿八日

已下刻御黒書院^江出御参勤之御礼有之

太刀 銀三百枚

黒羅紗二十間

金馬代 たひか二十巻

太刀 銀二百枚

銀馬代 銀二百枚

銀馬代 拾十

わたり百把

太刀 拾十

銀馬代 拾十

わたり百把

右相濟御白書院^江 出御

太刀 銀百枚

拾式十

二束一卷

御折拂巻敷

一束一卷

初画 御目見

巻敷

一束一卷

若王寺弟子

勝仙院使僧

本願寺医師

本願寺坊首

福井是庵法眼

下間宮内卿

同 刑部卿

修人 横田監物

上田織部

下間修理

右 御目見

今朝松平下野守へ 上使大和守高田へ暇時ふく五十

被下之

参勤

銀三百枚 前出

羅紗廿間 初画

銀馬代 時ふく三

金五枚 時ふく三羽折

京都へ御暇

箱肴 参府

御暇御馬

松平大膳大夫
松平大助
前田安藝守
知久伊左衛門
小笠原孫右衛門
座光寺喜兵衛
松平下野守

御室様へ
松平伯耆守

松平大膳大夫

藤堂和泉守

森 美作守

鍋嶋撰津守

鍋嶋備中守

土方河内守

伊東信濃守

有馬伊与守

有馬周防守

加藤遠江守

六郷佐渡守

岩城権之助

同断 三羽折

同断

於御前雅楽頭美濃守大和守但馬守御屏風^{探幽筆 一双ツ}

拜領之内膳正、病氣^二付無登 城

若王寺弟子

乘 院

勝仙院使僧

本願寺医師

本願寺坊首

福井是庵法眼

下間宮内卿

同 刑部卿

修人 横田監物

上田織部

下間修理

同 刑部卿

修人 横田監物

上田織部

下間修理

同 刑部卿

修人 横田監物

上田織部

下間修理

同 刑部卿

修人 横田監物

上田織部

下間修理

同 刑部卿

修人 横田監物

上田織部

下間修理

同 刑部卿

修人 横田監物

上田織部

下間修理

同 刑部卿

修人 横田監物

廿九日

銀百枚

時ふく十

御暇

時ふく十

時ふく六

右兩人病氣^二付以名代拜領之

小出修理亮

遠藤備前守

柳營日次記

延宝元 癸 丑年

五月

朔日

辰下刻御黒書院^江 出御如例御一門方 御對顔御白書院

出御如例月諸大名 御目見

- 三種二荷 福国御札
- ちりめん廿卷
- 二種一荷
- 銀馬代 初而
- 一東二卷 後住御札
- 紀黄門使者
- 澁谷角右衛門
- 松平阿波守使者
- 山田丹下
- 松平下野守家来
- 雪吹采女
- 越後国
- 本 成 寺
- 狩野左門
- 大津惣代

森内記娘一条内大臣殿へ縁組被 仰付之内記へ雅楽頭達之

梅首鶴五ツ御前拜領雅楽頭松平美作守酒井河内守

同 三ツ美濃守大和守但馬守拜領之

日門へ(奥上洛^ニ付)上使酒井雅楽頭

銀三百枚 綿式百把 御伽羅二木

銀式百枚 御土産料

金五百両 道中御賄料

右之通被遣之 御臺様日門へ拾十被遣之

御宮 御佛殿へ初瓜茄子御進献之

二日

日門御暇 御對顔圓覚院坊官吉川大藏卿同少式大西宮

内卿 御目見 日門差添被遣^ニ付御暇

(金五枚 時ふく式羽折)

(金五枚 時ふく式)

三日

端午之時ふく献上之

時ふく四 御暇

式

- 紀黄門使者
- 澁谷角右衛門
- 松平阿波守使者
- 山田丹下

四日

梅首鶴五ツ被下 松平大膳大夫 藤堂和泉守

五日

辰下刻御黒書院^江 出御甲館両宰相殿 御對顔過 御白書院^江 出御諸大名 御目見

書院^江 出御諸大名 御目見

六日

去^ル四日式日依延引今日評定所^江但馬守出座

紀州和哥山へ為 上使永井佐渡守可被遣旨

七日

金五百両 但老人^ニ付

同百式十兩 但老人^ニ付

右之通當丑年^ニ被下旨午込忠左衛門へ申渡但當番長崎

在番之時被下之

八日

松平出羽守 同 上野介

右へ松平右近大夫去頃死去実子無之^ニ付弟岩千代養子仕

度旨雖願置右領知雖可被 仰付候老万石之知行^者兄松平

出羽守知行高新田之内^ニ分遣候故有之候間出羽守^江御

返^シ可被下候旨右兩人^江老中申渡之

高四千五百石之内

四千字

五百石

右願之通隱居被 仰付且又依願分知被 仰付候

六百石

同 猪之吉

同 徳 院

同 養貞

右隱居被 仰付家督無相違被下候

らうそく三百挺

二種一荷

銀五枚 奥御内家相渡ス

銀三十枚時ふく四

- 梅国御札
- 丹羽左京大夫使者
- 女院御所御使
- 布施庄左衛門
- 布施庄左衛門
- 親世大夫

廿枚時ふく式

十枚ツツ

金老時時ふく式ツツ

銀十枚時ふく式

銀十枚

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

時ふく式ツツ

喜多七大夫

近藤権右衛門

高安彦太郎

春藤六郎治郎

梅若六郎

葛野九郎兵衛

觀世新九郎

鷺 仁右衛門

鷺 傳右衛門

幸 小兵衛

春日市右衛門

高安三右衛門

福王茂兵衛

金剛大夫^江

奥 狩野洞雲繪巻物出来^ニ付時服被下之

右は御暇被下候得共當地^ニ罷在候喜多七大夫^ニ役儀稽古

可仕之旨被 仰出依之御扶持方被下之

觀世座弥石八郎左衛門老免配當米養子理兵衛へ被下之

同弥石小四郎病免配當米養子庄五郎へ被下之

酒井伴右衛門家来

安部貞右衛門

神谷武右衛門

前田求馬

右は御馬医細谷弥次右衛門と昨夜谷之材木藏西小路^ニ而

喧嘩いたし即時^ニ弥次右衛門切殺申候依之右三人切腹被

仰付候右^ニ付御徒目付星野加右衛門菊地彦大夫等被遣之

於京都御普請御用之儀中井主水へ申渡之

中井主水

同 長五郎

遠山主殿頭

青木求馬

戸田孫十郎

右は駿府加番被 仰付候

水宰相へ 上使稲葉美濃守を以御暇被遣之

丹羽左京大夫使者

十一日

御黒書院^江 出御在所^江 御暇之衆有之

藤堂和泉守

永井市正

織田孫七郎

大御番両組

右 御目見

水戸殿御暇^三付登 城御對顔御鷹三連^三 雁提 被遣之

參勤

松浦老岐守

京極信濃守

酒井伊与守

植村土佐守

三木佐次右衛門

德坂八郎右衛門

市川三左衛門

望月庄左衛門

田村彦助

高木権右衛門

高木二郎兵衛

小堀源兵衛

国領半兵衛

武田杏仙

時ふく三羽折 京都へ御暇

十二日

勢州婦 上秋伊勢守登 城

評定所^二而 式寄合大和守出座

去^八日夜寅刻鷹司撰政殿と廣橋宰相両屋敷之間より出

火大風故 禁裏女御法眼新院女院此外御所方不殘炎上

本院は(對之屋計焼其外)残候由永井伊賀守屋敷焼失其

外町家数多焼九日午刻火鎮候由伊賀守ノ注進有之

禁裏炎上^二付為伺 御機嫌御両殿登 宮 御座之間^二而

御對顔

同断^二付尾張殿同中将殿水戸少將殿登 城謁老中

戸田土佐守京都へ御使可被遣旨

同断^二付国持大名御譜代大名衆登 城謁老中

三種之神器御恙無之白川へ渡御 主上へ近衛殿へ行幸

上皇新院御所へ先白川照高院へ臨幸夫々 上皇へ有栖

川殿屋敷^江 新院へ八條殿屋敷へ遷幸 女院本院女三宮

女五宮^江 臨幸

其外類火之趣

鷹司殿 伏見殿 九条殿 廣橋宰相 勅修寺中納言

日野大納言 菊亭大納言 鳥丸宰相 小川坊城大納言

五辻左馬頭 西園寺中将 院參町^三三軒 裏松藏人

半井驥庵 毘沙門室門跡里坊 園大納言 水戸宰相殿

右之外永井伊賀守屋敷又、町方上へ今出川下へ二条通東

へアイノ町通西へ大宮通悉令焼失之由注進

十三日

金拾枚

時ふく三

羽折

時ふく式

御暇

御暇

無事

十五日

如例月諸大名雖為出仕

禁裏炎上^三付 出御不被遊旨老

中列座雅樂頭申渡

於御座間

時ふく十

御暇

大膳所へ御暇被下今度

禁裏 院中炎上^二付自然御用

等も可有之間永井伊賀守可相談旨也

時ふく六羽折 御暇同断

京都へ御暇

金五枚時ふく三

久保和泉守

石谷五右衛門

山口庄兵衛

禁裏炎上^二付 主上は近衛殿^江行幸 上皇新院は先白川

照高院^江綸幸夫より 上皇は有栖川殿^江遷幸有之 女院

本院^并女三宮女五宮は 宮^江臨幸有之候由注進之

水野太郎左衛門義子^三七郎左衛門仕度旨願之通被 仰

付之

西本願寺御暇 上使但馬守銀三百枚綿式百把被遣之

時ふく四

下間宮内

下間刑部卿

上田藏部

横田監物

下間修理

福井是庵

時ふく五

一女院様へ御自筆之 御内書^并御伽羅二木御硯箱一御屏

奥狩野探由筆

風二双御進覽

永井伊賀守京都之屋敷類火^二付御帷子單物被下之

一六人衆^并御侍非藏人之内九人家々屋根破損^二付^三修復

願之事重^三御所方御作事之義修復被 仰付可被下事

一將監惣領遠山五右衛門御奉公願之事被召出候処可被

仰遣事

一三宅権之助御切米十石御加増都合三十五石可被成下事

右之通久保和泉守へ被 仰遣之

十七日

巳刻紅葉山^江 御參詣^{御兵衛} 御先^江井伊掃部頭老中相越

右へ 禁裏炎上^二付京都^江可被遣候之旨被仰渡候 但来

廿二三日出立之筈也

御先立 掃部頭

御刀 本多土佐守

御香 能勢撰津守

尾張黃門陪拜 智樂院奉迎

豫參 掃部頭

雅樂頭

美濃守

大和守

但馬守

御供 土井能登守

堀田備中守

板倉筑後守

石川美作守

十八日

於御座間 勢州掃 御目見

上杉伊勢守

見守登 營

板倉内膳正所勞御尋 上使松平民部少輔為御札板倉石

一門奈助左衛門秋山六左衛門府中へ御馬買可被遣旨

十九日

昨日也

秋山六左衛門

門奈助右衛門

右ハ府中江御馬買御用可被遣候旨被 仰付候

又治郎へハ當年ハ初被下

時ふく式 ヅ 御暇

廿日

今日紅葉山 御參詣昨夜ハ御不例ニ付御延引 御名代

酒井雅楽頭

廿一日

少々御腹痛氣ニ付為伺 御機嫌御三人方ハ使者被差上之

謁老中

永井伊賀守居屋敷類焼ニ付御帷子單物羽折被下之是ハ久

保和泉守罷登候節持參也

京都炎上ニ付伺使者

時ふく三

織田主計頭近日京都へ可被遣旨

廿二日

評定所式日寄合但馬守出座

御座之間

御供 土井能登守

金廿枚

時ふく五

右ハ京都江(奥炎上ニ付)御暇ニ付被下之

廿三日

於御座間

黄金十枚 紀州へ御暇

永井佐渡守

武田杏仙事在京中毎歳式百儀ツ被下之旨

銀十枚

時ふく五

廿四日

已上刻紅葉山 御參詣 御先江井伊掃部頭老中不殘

相越

豫參 掃部頭

美濃守

大和守

但馬守

堀田備中守

板倉筑後守

松平因幡守

石川美作守

御先 酒井河内守

御刀 本多土佐守

御香 三枝撰津守

方丈拜迎 尾黃門陪拜

仰渡

廿五日

已下刻御黒書院江 出御參勤御礼有之

金馬代

金馬代

時服十

羽折

同

同

同

同

箱肴 病後

御目見以後被下之

金三枚 家督御礼

銀馬代 初

隱居御礼

時ふく六羽折 御暇

時ふく十

左馬頭殿右馬頭殿へ 上使本多土佐守を以果鶏式ツ

被遣之

板倉内膳正病氣御尋 上使万年佐左衛門

被遣之

廿六日

尾黃門へ 上使安藤老岐守果鶏式被遣之為御礼登 營

紀黃門水宰相へ同断宿次を以被遣之

時ふく式 御暇

廿七日

尾中將へ三枝隱岐守水少將へ柴田和泉守を以果鶏式ツ

被遣之

松平越後守松平加賀守へ果鶏式ツ 被下御使役持參

井伊掃部頭へ同断 上使万年佐左衛門

新院宮願之通師弟之契約相濟御礼

毘沙門堂門跡使者

安田治部卿

水野甚五左衛門

五味藤九郎

水野監物

大久保安藝守

石川日向守

福原内匠

同 千太郎

同 淡路

井伊伯耆守

本多飛騨守

安田治部卿

水野甚五左衛門

五味藤九郎

水野監物

松平大和守

太田撰津守

本多飛騨守

丹羽式部少輔

堀 長門守

細川豊前守

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

廿八日

一 已上刻御黒書院^江 出御如例月御一門方 御對顔過^而

白書院^江 出御如例諸大名 御目見^{筑後国}

東卷 後住御礼 善導寺

箱肴 參上 本多酒之丞

條五筋奥御役御免^{付掃揚} ^{百武正福惠} 大坂御藏奉行 永井傳左衛門

箱肴 參上 中村左右衛門

進物 〃 後藤治兵衛

同 理右衛門

於御座間雅樂頭泉鶴式拜領之

廿九日

永井伊賀守

右^ハ屋敷類焼^ニ付作事料銀三百貫目被^レ下^ル之

去^ル十二日十三日水谷左京亮領分洪水^ニ而 家数五百式拾

老軒牛馬其數不知^三拾^四人流死之由注進之

板倉内膳正病氣為尋^{奥夜八卒去} 上使万年佐左衛門

御暇被^レ下

福原内匠

柳宮日記記

延宝元^{癸丑}年

六月

朔日

如例月諸大名雖為出仕津輕越中守室増山兵部少輔姉昨曉

死去^并板倉内膳正昨夜死去^ニ付^而 御表^江 出御不為遊

候旨御一門方其外諸大名出仕之面々^江 老中出座雅樂頭申

渡之

右相済為伺 御機嫌登 城之儀無用之旨被^レ仰渡候

兵部少輔姉^ハ津輕越中守室也

山崎勘解由

右は在所大水^ニ付九月迄參勤御免也

内膳正卒去^ニ付板倉石見守へ 上使但馬守

筑後守へも上意有之

一尾張中將殿登 城は板倉内膳正卒去^ニ付^而也

二日

内膳正卒去^ニ付板倉石見守へ 上使堀田備中守

御香奠銀式百枚被^レ下之

同三十枚

御齋樣御使 松平所左衛門

三日

時ふく三 御暇

越後 本成寺

四日

評定所式日寄合美濃守出座

時ふく三羽折 御暇

飯田新右衛門

五日

無事

六日

一 已刻御黒書院^江 出御參勤之御礼

(銀百枚^江金馬代 狸^ハ十間)

松平隱岐守

(金馬代 わた式百把

時ふく五

(金五枚ツツ 大坂作番 御暇

(時服五羽折

銀拾枚

(時ふく武羽折ツツ

鳥目百疋

初面 御目見

御代官 李右衛門子

両組頭八人

中村權兵衛

大御番同組中

山吹之間一同御目見

大御番子供

拾一人

一 長崎表^江エケレス船一艘去月廿五日着岸之由今朝松平丹

後守注進之

箱肴 病後 内藤豊前守

三種二荷 掃国御礼

奉書紙五十束

金式枚

時ふく二羽折

同老枚

時ふく二羽折

時ふく四 掃国^ニ付

時ふく二 内膳正卒去^ニ付

時ふく三 掃国^ニ付

時ふく二 掃城^ニ付

時ふく二 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

戸田左門

諏訪因幡守

内藤若狭守

田中大隅守

御代官 李右衛門子

両組頭八人

中村權兵衛

大御番同組中

山吹之間一同御目見

大御番子供

拾一人

一 長崎表^江エケレス船一艘去月廿五日着岸之由今朝松平丹

後守注進之

箱肴 病後 内藤豊前守

三種二荷 掃国御礼

奉書紙五十束

金式枚

時ふく二羽折

同老枚

時ふく二羽折

時ふく四 掃国^ニ付

時ふく二 内膳正卒去^ニ付

時ふく三 掃国^ニ付

時ふく二 掃城^ニ付

時ふく二 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

時ふく三 御暇

織田主計頭

御座之間

金拾枚

時ふく三

京都^江

御暇

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

時ふく三

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

松平越前守使者

本多左兵衛

松平淡路守使者

多羅尾平之丞

水宰相使者

宇都宮弥三郎

村上新五郎

同五拾枚
同貳拾

本院^江

新院^江

銀三百枚
御拾貳拾

女院^江

金子貳千兩
繡珠貳拾卷

女御^江

銀百枚
同貳拾卷

新院女御^江

女三宮^江
同五拾枚

禁裏女中^江

銀五百枚
同三百枚

法皇女中^江

同三百枚
同貳百枚

新院女中^江

同貳百枚
同五百枚

女院女中^江

銀五百枚
銀五拾枚

右主計頭^ヲ以被遣之

右は大御番^江御番入被仰付候

拜領物無之 御暇

御役御免
一戸田土佐守京都より帰謁

九日

大御番酒井伊与守植村土佐守組兩組番改有之
時ふく式ツツ 御暇
羽折
高木新兵衛
高木四郎兵衛

十日

昨日也
植村土佐守
酒井伊与守

右兩組中二条在番掃御改有之右は昨日也
先月十七十八日兩日松平丹後守有馬中務太輔大村因幡守
右之領内水出田畑損毛民屋破損之由注進之
伊沢主水正儀水戸へ為 上使可被遣旨

十一日

松平出羽守
右は願之通岩千代儀可被 召出候旨老中傳之但岩千代は
出羽守弟也
松平右近大夫跡職老万石之事為一国内之内之間出羽守へ
被返下候旨去月被 仰出之処弟岩千代^ニ授与仕度旨出
羽守願^ニ付可任其意旨被 仰出

十二日

於評定所式日齋合但馬守出座
御座之間
太田撰津守

十三日

右は御奏者番被 仰付之
此度長崎^江着岸エケレス人口書

十四日

一此エケレス船去々年十月頃三艘連^ニエケレス国出船
仕去年四月頃シヤカタラノ近所バンタン^ニ四十日ほど
逗留仕候夫より六月時分東方之近所へシカトウルト申

十五日

無事

無事

所^ニ着船其より日本^江伺公仕度奉存候処順風無御座只
今迄罷在當月十日彼地出舟今日當着仕候

十五日

一三艘連之内一艘は去年四月頃東京へ参候式艘^ハ此船同
前^ニへシカトウルと申所^ニ参逗留仕候処今一艘之船之
荷物此船^ニ積移し去年十一月時分又ハンタン^ニ遣申候
此船又跡^ル日本へ参上仕候儀、御訴訟申上日本^ニ商
賣事望^ニ奉存候国本出船仕人数八拾六人^ニ到着仕
候

通詞 共

丑五月廿二日

参勤
牧野飛驒守
鳥居兵部少輔
松平将監
前田右近大夫
松平帯刀
木下談路守一男
金森内記
修理亮三男
山口半之助
大久保甚兵衛
同藤之助
織田内記
松平越中守
小笠原内匠頭
松平丹波守
松平日向守
松平周防守
堀丹波守
植村右衛門佐
三宅能登守
善導寺
後藤治兵衛

銀馬代

初而
時ふく五 御暇
時ふく十 御暇
時ふく二十 御暇
時ふく三十 御暇
時ふく四十 御暇
時ふく五十 御暇
時ふく六十 御暇
時ふく七十 御暇
時ふく八十 御暇
時ふく九十 御暇
時ふく百 御暇

銀馬代

初見
時ふく三 御暇
時ふく五 御暇
時ふく七 御暇
時ふく九 御暇
時ふく十一 御暇
時ふく十三 御暇
時ふく十五 御暇
時ふく十七 御暇
時ふく十九 御暇
時ふく二十一 御暇
時ふく二十三 御暇
時ふく二十五 御暇
時ふく二十七 御暇
時ふく二十九 御暇
時ふく三十一 御暇
時ふく三十三 御暇
時ふく三十五 御暇
時ふく三十七 御暇
時ふく三十九 御暇
時ふく四十一 御暇
時ふく四十三 御暇
時ふく四十五 御暇
時ふく四十七 御暇
時ふく四十九 御暇
時ふく五十一 御暇
時ふく五十三 御暇
時ふく五十五 御暇
時ふく五十七 御暇
時ふく五十九 御暇
時ふく六十一 御暇
時ふく六十三 御暇
時ふく六十五 御暇
時ふく六十七 御暇
時ふく六十九 御暇
時ふく七十一 御暇
時ふく七十三 御暇
時ふく七十五 御暇
時ふく七十七 御暇
時ふく七十九 御暇
時ふく八十一 御暇
時ふく八十三 御暇
時ふく八十五 御暇
時ふく八十七 御暇
時ふく八十九 御暇
時ふく九十一 御暇
時ふく九十三 御暇
時ふく九十五 御暇
時ふく九十七 御暇
時ふく九十九 御暇
時ふく百 御暇

銀馬代

初見
時ふく三 御暇
時ふく五 御暇
時ふく七 御暇
時ふく九 御暇
時ふく十一 御暇
時ふく十三 御暇
時ふく十五 御暇
時ふく十七 御暇
時ふく十九 御暇
時ふく二十一 御暇
時ふく二十三 御暇
時ふく二十五 御暇
時ふく二十七 御暇
時ふく二十九 御暇
時ふく三十一 御暇
時ふく三十三 御暇
時ふく三十五 御暇
時ふく三十七 御暇
時ふく三十九 御暇
時ふく四十一 御暇
時ふく四十三 御暇
時ふく四十五 御暇
時ふく四十七 御暇
時ふく四十九 御暇
時ふく五十一 御暇
時ふく五十三 御暇
時ふく五十五 御暇
時ふく五十七 御暇
時ふく五十九 御暇
時ふく六十一 御暇
時ふく六十三 御暇
時ふく六十五 御暇
時ふく六十七 御暇
時ふく六十九 御暇
時ふく七十一 御暇
時ふく七十三 御暇
時ふく七十五 御暇
時ふく七十七 御暇
時ふく七十九 御暇
時ふく八十一 御暇
時ふく八十三 御暇
時ふく八十五 御暇
時ふく八十七 御暇
時ふく八十九 御暇
時ふく九十一 御暇
時ふく九十三 御暇
時ふく九十五 御暇
時ふく九十七 御暇
時ふく九十九 御暇
時ふく百 御暇

銀馬代

初見
時ふく三 御暇
時ふく五 御暇
時ふく七 御暇
時ふく九 御暇
時ふく十一 御暇
時ふく十三 御暇
時ふく十五 御暇
時ふく十七 御暇
時ふく十九 御暇
時ふく二十一 御暇
時ふく二十三 御暇
時ふく二十五 御暇
時ふく二十七 御暇
時ふく二十九 御暇
時ふく三十一 御暇
時ふく三十三 御暇
時ふく三十五 御暇
時ふく三十七 御暇
時ふく三十九 御暇
時ふく四十一 御暇
時ふく四十三 御暇
時ふく四十五 御暇
時ふく四十七 御暇
時ふく四十九 御暇
時ふく五十一 御暇
時ふく五十三 御暇
時ふく五十五 御暇
時ふく五十七 御暇
時ふく五十九 御暇
時ふく六十一 御暇
時ふく六十三 御暇
時ふく六十五 御暇
時ふく六十七 御暇
時ふく六十九 御暇
時ふく七十一 御暇
時ふく七十三 御暇
時ふく七十五 御暇
時ふく七十七 御暇
時ふく七十九 御暇
時ふく八十一 御暇
時ふく八十三 御暇
時ふく八十五 御暇
時ふく八十七 御暇
時ふく八十九 御暇
時ふく九十一 御暇
時ふく九十三 御暇
時ふく九十五 御暇
時ふく九十七 御暇
時ふく九十九 御暇
時ふく百 御暇

銀馬代

初見
時ふく三 御暇
時ふく五 御暇
時ふく七 御暇
時ふく九 御暇
時ふく十一 御暇
時ふく十三 御暇
時ふく十五 御暇
時ふく十七 御暇
時ふく十九 御暇
時ふく二十一 御暇
時ふく二十三 御暇
時ふく二十五 御暇
時ふく二十七 御暇
時ふく二十九 御暇
時ふく三十一 御暇
時ふく三十三 御暇
時ふく三十五 御暇
時ふく三十七 御暇
時ふく三十九 御暇
時ふく四十一 御暇
時ふく四十三 御暇
時ふく四十五 御暇
時ふく四十七 御暇
時ふく四十九 御暇
時ふく五十一 御暇
時ふく五十三 御暇
時ふく五十五 御暇
時ふく五十七 御暇
時ふく五十九 御暇
時ふく六十一 御暇
時ふく六十三 御暇
時ふく六十五 御暇
時ふく六十七 御暇
時ふく六十九 御暇
時ふく七十一 御暇
時ふく七十三 御暇
時ふく七十五 御暇
時ふく七十七 御暇
時ふく七十九 御暇
時ふく八十一 御暇
時ふく八十三 御暇
時ふく八十五 御暇
時ふく八十七 御暇
時ふく八十九 御暇
時ふく九十一 御暇
時ふく九十三 御暇
時ふく九十五 御暇
時ふく九十七 御暇
時ふく九十九 御暇
時ふく百 御暇

銀馬代

初見
時ふく三 御暇
時ふく五 御暇
時ふく七 御暇
時ふく九 御暇
時ふく十一 御暇
時ふく十三 御暇
時ふく十五 御暇
時ふく十七 御暇
時ふく十九 御暇
時ふく二十一 御暇
時ふく二十三 御暇
時ふく二十五 御暇
時ふく二十七 御暇
時ふく二十九 御暇
時ふく三十一 御暇
時ふく三十三 御暇
時ふく三十五 御暇
時ふく三十七 御暇
時ふく三十九 御暇
時ふく四十一 御暇
時ふく四十三 御暇
時ふく四十五 御暇
時ふく四十七 御暇
時ふく四十九 御暇
時ふく五十一 御暇
時ふく五十三 御暇
時ふく五十五 御暇
時ふく五十七 御暇
時ふく五十九 御暇
時ふく六十一 御暇
時ふく六十三 御暇
時ふく六十五 御暇
時ふく六十七 御暇
時ふく六十九 御暇
時ふく七十一 御暇
時ふく七十三 御暇
時ふく七十五 御暇
時ふく七十七 御暇
時ふく七十九 御暇
時ふく八十一 御暇
時ふく八十三 御暇
時ふく八十五 御暇
時ふく八十七 御暇
時ふく八十九 御暇
時ふく九十一 御暇
時ふく九十三 御暇
時ふく九十五 御暇
時ふく九十七 御暇
時ふく九十九 御暇
時ふく百 御暇

御礼無之

一 甲府殿御簾中御平産御男子御出生上使松平民部少輔被遣之

内藤飛驒守於在所病氣^三付同姓和泉守御暇被下之

十六日 御刀欠

已上刻大廣間^江 出御^{御長袴} 嘉祥之御祝儀有之

十七日

紅葉山 御名代久世大和守

十八日

一 法皇様 新院様 女院様右御普請御急^二付年中出来仕候様^二と被仰渡候面々

御普請奉行

櫻井庄之助

石尾七兵衛

平野次郎左衛門

岩手藤左衛門

河合甚五兵衛

右之面々^江 被 仰付候

一 甲府殿今度御出生之御子昨夜卒去^二付 上使稻葉美濃守

十九日

無事

廿日

御名代無之

時ふく三羽折

御暇

小笠原与左衛門

廿一日

時ふく二十御馬

御暇

松平下総守

〃 十羽折

〃

内藤左京亮

〃 十

〃

水野隼人正

同断

〃

溝口信濃守

〃 四羽折

〃

内藤右近大夫

〃 五羽折

酒井大字頭

同断

大関信濃守

〃 四羽折

太田原山城守

同断

牧野遠江守

同断

菅沼主水

〃 六羽折

本堂源七郎

已下刻御黒書院^江 出御參勤之御礼

(金馬代)

(銀馬代)

(雨鞍履五懸)

(時ふく五)

右 御目見

銀五枚

右之通 御臺様^江差上之

金五枚時ふく五

同断御礼

巢鶴被遣候御礼

一荷二種 掃国御礼

法皇御殿其外御普請御用被仰付

御勘定

廿二日

右は今度 法皇御所^并新院御所女院御所御普請^二付被遣候旨昨日被 仰付候

於評定所式日之寄合美濃守出座

御座之間

(金三枚)

(時ふく二羽折)

右は水戸殿国元^江為 上使可被遣候旨被 仰付候

西丸大手御門番内藤飛驒守代り牧野飛驒守被 仰付之

時ふく三 御暇

同断

伊澤主水正

渡辺源右衛門

齋藤織部

廿三日

水少将登 城昨日水戸へ 上使被遣御礼也

廿四日

去^ル十四日高野山火事出来火元五宝谷真藏院学侶式軒役人方式拾軒大徳院門中廿二軒客僧方一軒焼失之由注進之

増上寺 御名代美濃守

廿五日

大御番^江

小十人^江

小十人へ

御天守番^江

富士見番^江

右之通御番入被 仰付候

有馬左衛門佐より子飼腑替之丹頭活鶴老羽差上之

廿六日

御座之間へ寺社奉行町奉行御勘定奉行被 召出 奥も

役儀骨折候^二付 上意有之被下物

時ふく五ッ

〃 四ッ

同断

時ふく式羽折ッ 御暇

御代官

佐野平兵衛

松平清兵衛

板倉市正組

孫右衛門子

右同人組

越前養子

朝倉八右衛門

八右衛門子

大久保右京亮組

市兵衛養子

朝比奈市兵衛

一色二郎兵衛組

助左衛門子

大岡助之允

布地八郎兵衛組

源左衛門養子

松村清右衛門

杉原又兵衛組

彦右衛門子

佐治半兵衛

小笠原山城守

戸田伊豆守

本多長門守

嶋田出雲守

宮崎若狭守

杉浦内藏允

徳山五兵衛

甲斐庄喜右衛門

御代官

佐野平兵衛

松平清兵衛

甲府殿へ、^奥上使板倉筑後守被遣之

廿七日

御座之間

御羽折三差上

土井能登守

右は昨日京都へ歸着^ニ付 御目見

箱編五卷

右は 御臺様^江差上之

^{上使本多土佐守}

林 殿^江

雲雀五十ツ

〃 堀田對馬守

尾 黄門^江

千代姫御方 本理院御方へも五十ツ被遣之

^{奥奥より}

廿八日

如例月御一門方諸大名寄合面々 雖為出仕昨夜々御頭痛^ニ
被成御座候^ニ付御表出御不被遊候旨老中傳之

伊澤主水 京都歸登 城

廿九日

^奥名越之祓酒井河内守初^二勤之

端午之 御内書諸家へ被下使者時ふく被下之

名越之御祓土御門調進之

永井佐渡守紀州歸登 城

松平大隅守參府^ニ付 上使美濃守

銀五枚 御暇

土御門使者